

平成 19 年度 第 1 回海洋開発委員会 議事録

日時：平成 19 年 7 月 10 日（火）12:20～13:10

場所：長崎新聞文化ホール アストピア 3 階中ホール

〒852-8521 長崎市茂里町 3-1 TEL. 095-844-2111

出席者：酒匂顧問，山本顧問，高橋委員長，関本幹事長，秋山，新井，宇多，遠藤，加藤，川上，小峰，清水（代理：榊山），多田，辻，坪田，永井，中村，宮川，福濱の各委員，大塚，五明，木村，柵頼，佐々木，東江，古川，水谷の各委員兼幹事，織田，加藤，武田，田島，森屋の各幹事

欠席者：梅山，大久保，小澤，清宮，小島，建部，泊，中原，西，堀田の各委員，矢内委員兼幹事

配布資料：

資料 1 平成 18 年度 第 2 回海洋開発委員会 議事録

資料 2 平成 19 年度 海洋開発委員会（第 2 回）論文 WG 資料

資料 3 第 32 回（2007 年）海洋開発シンポジウム関連行事

資料 4 第 33 回（2008 年）海洋開発シンポジウム会場候補

資料 5 改革小委員会からの活動報告

資料 6-1 外洋水導入システム研究小委員会

資料 6-2 アセットマネジメント研究小委員会

資料 6-3 順応的管理研究小委員会

資料 7

議事：

1. 高橋委員長挨拶

有意義な意見と会員の利益となるような議論を期待する旨挨拶があった。

2. 委員・幹事の自己紹介

各自自己紹介を行った。

3. 前回議事録の確認（資料 1：関本幹事長）

すでにメールにて確認済みで特に意見はなく承認された。

4. 本年度シンポジウムについて

・論文応募数と採択数（資料 2：五明委員兼幹事）

掲載論文は 210 編であったとの報告がなされた。

・論文集の発行部数と購買部数（資料 2：五明委員兼幹事）

論文集の購買部数は 227 編で，CD を添付してから部数が減少傾向にある旨報告された。

・参加人数の速報（関本幹事長）

午前 11 時半現在で 265 名の登録があったことが報告された。

・関連イベントについて（資料 3：関本幹事長）

海の移動教室は国土交通省九州地方整備局ならびに長崎県の協力のもと 25 名が参加し開催された。懇親会は雨天の予想のため会場を全日空ホテルに変更する旨連絡された。

5. 次回シンポジウムの開催場所と開催日（資料 4：関本幹事長）

次回は倉敷にて 7 月 1，2 日に開催の予定であることが報告された。

6. 改革小委員会からの活動報告（資料 5：木村委員）

以下の報告があった。特別講演会が「海洋基本法と私たち」と題して 4 月 16 日開催され，124 名の参加を得た。次期シンポジウム特別セッションは，これまでの経緯も含め検討している。また，3 つの研究小委員会の立ち上げを行っている。

7. 研究小委員会について（資料 6-1：佐々木委員，6-2 森屋幹事，6-3 古川幹事）

各担当より資料に従い活動内容案の報告等があった。外洋水導水研究小委員会はすでに動き

出しており、7月12日に第一回委員会を開催する。アセットマネジメント研究小委員会は、7月10日午後に準備会合を行う。順応的管理研究小委員会は、立ち上げ準備中である。

8. その他

・日本海洋工学会からの報告（資料7：遠藤委員，森屋幹事）

海洋工学シンポジウムが船舶海洋工学会と日本海洋工学会の共催として3月18，19日に開催される予定になっている。土木学会へはオーガナイズドセッションの開催を依頼されており、実行委員として森屋幹事が派遣されている。テーマとして①順応的管理，②津波防災，③閉鎖性海域の生態環境の評価・改善を候補とし、海岸工学委員会と相談しながら検討を進めている。次回の実行委員会は7月20日ごろ開催予定である。

他学会の動きについて質問があり（宇多委員），船舶海洋工学，資源学会などを中心とした海洋技術フォーラムにおいて具体的中身が検討され，タスクフォースとして8つのWGが動いている旨回答があった

・顧問からのあいさつ

酒匂顧問より，「海洋開発基本計画の策定が進められており，地方の役割が明確化され地域海洋開発が進むと思われる。したがって，マネジメントが重要となり海洋開発委員会の果たす役割が広がるものと思われる」旨あった。

山本顧問より，「実験や計測の技術的な進歩はめざましいが，実地の部分がまだ不足している感があり，海洋開発委員会の活躍の場がある。また，外海水導水システムについては，100年，200年の長期的視点に立った取組みも必要と考える。」旨あった。

・次回の委員会について（関本幹事長）

次回委員会は来年1月後半から2月の間に実施する予定である。

以上